

株式会社マークス不動産 仙台支店開設のお知らせ

「世のために。人のために。」を理念に掲げ、社会問題に対して不動産を使って解決してきたマークス不動産（本社：東京都中央区、代表取締役：花原浩二、以下当社）は、業務拡大に伴い初の東北エリアとなる仙台支店を開設し、2024年2月1日より業務を開始することをお知らせいたします。今回の開設により、全国合計11拠点で運営をして参ります。



仙台支店情報

支店名：仙台

支店長：三品 直也

所在地：〒982-0012

宮城県仙台市太白区长町南3丁目15-3 レジデンス長町南201号室

TEL: 022-200-6522 FAX: 022-200-6523

営業開始日：2024年2月1日

開設の経緯

当社では事故物件を扱う「成仏不動産」のほか、生前対策で発生する不動産の困りごとを解決する「おまもり不動産」、芸能人や著名人への不動産紹介サービス「御用達不動産」など、様々なサービスを展開しております。その中でも「事故物件」を専門に買取りをして再販売する「成仏不動産」に力を入れて活動しています。

事故物件とは一般的に、病死や孤独死、事件・事故等で人が亡くなってしまった不動産のことを指します。このような事故物件を所有することになってしまったご遺族やオーナー様を助けるために当社が存在しています。

当社での取り扱いが最も多いのが「孤独死」になります。約13年前の東日本大震災の影響により、宮城県では約1万人以上の方が被害にあわれ、倒壊家屋は約14万戸を超えました。復興に向かいつつある宮城県ですが、現在ひとり暮らしをしている高齢者の数は震災前と比較すると約2倍以上の150,736人で、65歳以上の高齢者人口の23.0%を占めており、約4人に1人の高齢者がおひとりで暮らされています。宮城県の高齢化率は29.1%で前年と比較して0.3ポイント上昇しています。

出典：宮城県高齢者人口調査の結果(令和5年)について(長寿社会政策課)

<https://www.pref.miyagi.jp/release/ho20230710.html>

また、宮城県の空き家数は東日本大震災により一時減少したものの、年々増加しています。空き家率（総戸数に対する空き家数の割合）は、平成30年で11.9%となっており、宮城県内の全戸数のうち、約1割以上が空き家となっています。

出典：総務省統計局 「平成30年住宅・土地統計調査」

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/juutaku/akiyataisaku.html>

より多くのお困りごとに対応するための業務拡大により、仙台支店を開設する運びとなりました。

今後も事故物件をはじめ、不動産に関する困りごとの解決に努めてまいります。

会社概要

社名：株式会社マークス不動産（カブシキガイシャマークスドワン）

本社所在地：東京都中央区日本橋本石町3-1-2 FORECAST新常盤橋4階

代表者氏名：花原浩二

資本金：10,500万円

事業内容：不動産買取事業 / 不動産仲介事業（売買仲介および賃貸仲介）
不動産活用コンサルティング事業

サービス一覧：成仏不動産 / 葬祭事業者サポート / 負動産の総合病院 / おまもり不動産 / 中立不動産 / 御用達不動産 / 海外不動産

URL：<https://marks-house.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マークス不動産 中島

TEL：03-5299-7791 FAX：03-5299-7792

E-mail：info@marks-house.jp